

### 3 商工・労働

	タイトル	意見等
1	世界の衛生環境を改善する藍染め	<p>○未知の感染症の時代 熱帯化する日本では、未知の感染症が蔓延する可能性があります。医薬品の開発には時間とコストがかかります。</p> <p>○阿波藍染めに、抗ウイルス・抗菌機能が実証される 奈良県立医大と寿スピリッツ社により、阿波藍抽出物が、新型コロナウイルスを不活化することを実証しました。同様に、インフルエンザ、ノロウイルスに対しても、短時間で感染価を大幅に減少させております。また、藍に含まれる天然成分は、高い抗菌効果が示されています。染め布にも抗菌・抗ウイルス成分が吸着され、実際の製品利用シーンで、十分に機能することが裏付けられています。阿波藍染め製品を日常的に使えば、感染症を予防できる可能性が高まります。</p> <p>○阿波藍染めの現状 伝統的工芸品として、少量生産されています。日用品とするには高価です。また、生産農家も高齢化し、採算性にも難点があります。</p> <p>○収益モデル タデ藍の生産に、耕作放棄地を活用します。無肥料・無農薬の低コスト自然栽培方式です。新規参入も可能です。個別に生産される乾燥葉は、地域商社が回収、染作りを斡旋します。個人経営の藍染め作家や、福祉施設での少量生産を、地域商社が取り次ぎます。</p> <p>○地域商社の存在 関係者を取り持ち、ネット上でも応援するキーパーソンです。EC等、大活躍が期待されます。ターンテーブル、阿波踊り空港など、販路は拡大します。</p> <p>○機能性重視の製品 生産される藍染め製品は、機能性優先とします。県による基準作りと、認証、統一ブランド作りが必要です。安価な藍染め製品を大量生産できることが大切です。医療・福祉・子育て等、販路は無限です。エシカル・SDGsの側面も活用できます。</p> <p>○発展途上国への支援 自国で安価な藍染め製品を作ることができるよう、支援していきます。衛生環境改善が見込まれます。</p> <p>○連携 奈良県立医大、徳島大(医学部、農学部)には更なるご研究を期待し、県と連携していきたいと思っております。</p> <p>○世界の衛生環境を改善するという共通目標 ジャパンプルーの発祥地徳島が、世界を救うお手伝いができるかもしれません。コロナ禍以降、方向性を見失っている県民に、大きな自信を与えてください。阿波踊りと阿波藍の聖地として、これからも永く発展していくことでしょう。</p>
2	徳島マッチボックス	<p>近場の徳島で、お金かけずに、小学生の👧子供を、連れ行ける施設や🏟️場所を取り上げてほしいです。</p>

### 3 商工・労働

	タイトル	意見等
3	徳島マッチボックス	○ 私はスマートフォンを所持していないので、徳島マッチボックスのSNS認証による携帯電話番号での会員登録ができませんでした。改善をよろしくお願いいたします。
4	徳島支那そば	○ 後藤田正純徳島県知事は中国飲食文化大師を通じて、徳島支那そば(徳島ラーメン)を中国全土に知名度を高めなければならない。併せて、徳島製粉製造の金ちやん徳島ら-めんを中国に輸出をしなければならない。 ※ 徳島県は世界一の麺王国